

M. H. 英語英文学科・2年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

留学は、大学に入る前から行こうと思っていました。同志社女子大学の協定留学は奨学金がもらえ、援助も多いことからこの大学を選びました。アメリカに決めた理由は2年生から行くことができる点と、私が行ったMBCは留学生への奨学金制度があるからです。秋から行くために準備したのは1年の夏休み以降です。ESLでの語学研修ではなく実際に1年間大学に入り専門科目を勉強したい、そして金銭面でもESLは自己負担になってしまうので秋からの留学に決めました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

私はIELTSを受けました。IELTSはTOEFLとは違い、Speakingのテストが人対人です。その方が自分にあっていてと思ったのでこちらを選びました。特にIELTS対策用の教材は買っていませんが、実生活の中で少しずつ英語に触れるようにしました。例えば、1日の終わりにその日の出来事を自分で英語にして言う、など書いたり覚えたりするよりも、自分の中で知識をまとめていた、というような感じです。ですが、語彙力はそれでは足りない、自分が持っていた単語帳で語彙の数を増やす勉強はしていました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

決定してからは英語の勉強というよりも、ビザの申請、予防接種などに時間を割きました。ビザの手続きは難しくはないので自分でできますが、何事も早めに始めた方がいいと思います。申請してからもらえるまで時間がかかる書類などもあるので、情報が入ってき次第、何日までに何を終わらせるか、という自分のスケジュールリングはきちりした方がいいと思います。結果的にその能力は留学中もきっと役に立ちます。

④ 現地到着後

MBCは指定された2つの空港であれば、車で迎えに来てくれるので安心です。空港に着く時間をメールしておけば迎えに来てくれます。着いた次の日から5日間のオリエンテーションが始まります。朝ごはんの時間から夜までみっちりスケジュールが決まっているので正直しんどいですが、キャンパスツアーや日用品の買い出し、過去の留学生が残してくれたリサイクル品をもらえるなど、これからの留学生活に関わってくことをたくさんします、重要ですし、アメリカの学生と触れ合えるので楽しいです。

⑤ 語学研修期間

語学研修には行っていません。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

◆ 履修科目

履修科目はある程度日本で決めていき、アメリカでAcademic adviserの先生と面談をして

一緒に決めます。

（秋学期）

・ **Intro to social work**

社会福祉についてのコースです。ディスカッションがメインのクラスです。一番大変だったのは実際にバスに乗って福祉事務所に行き、インタビューをしてくるというものでした。

・ **Public speaking**

留学生に勧められるクラスですが、アメリカの学生と数は半分半分でした。グループワークとスピーチがメインで難しくないですし、アメリカの学生と仲良くなるチャンスがたくさんありますのでオススメです。

・ **English as a second language**

留学生のみで必修のクラスです。このクラスはエッセイ中心です。正直簡単ですが文法を見直すにはいいかもしれません。

・ **Intro to MBC/ American culture**

このクラスも留学生のみの必修クラスです。このクラスは勉強というよりも field trip など、楽しいことが多かったと思います。Academic adviser の先生が教えてくれるので心のケアもしてくれます。

・ **YOGA**

初心者コースなのでとても楽しくできました。先生がとてもいい人で、しんどい時には1時間寝ることもできました。自分がリラックスするためのクラスです。

（春学期）

・ **Modern Japan**

海外から見る日本、に興味があり取りました。やはり間違った解釈やステレオタイプなどがあり、とても楽しかったです。しかし、日本では話づらいことなども結構聞かれるので部屋に帰って考え込むことは多かったです。（笑）

・ **Intercultural communication**

この科目は私のお気に入りのクラスでした！クイズは多かったですが、内容は本当に楽しかったです。宗教や育ってき方が違う人々とどのようにうまくコミュニケーションを取るか、ということなどを学びます。コミュニケーションについて学びたい方は是非とってみてください。

・ **Intro to listening**

この科目もクイズがとても多く、毎週ありました。中世からの音楽を学びます。私はもともとピアノをしていて、興味があった科目なので苦ではなかったですが、全く知識がないまま取ってしまうとしんどいかもしれません。

・ **Voice diction**

このクラスは発音などではなく、“演じる”ことを学びます。個人のプレゼンテーションが多いですが、最後には二人か三人でスキットをやったりします。

・ **Comparative Politics**

このクラスは私のもう一つのお気に入りのクラスです！まず、先生の知識量がすごいです。実際にアフリカに行って研究されたりしていた方で、話に重みがあります。自分の視野が広がりますし、考察力もつくと思います。政治などに興味がある方は是非取ってみてください！

(May term)

・ **European history**

中世、ルネッサンスのヨーロッパの歴史を学びました。単にヨーロッパ史を勉強するのではなく、もう一つ踏み込んだ勉強をします。クイズも多くて正直難しかったです。

・ **Tennis**

リフレッシュのために取りました。

(通年)

・ **Piano**

Extra fee はかかってしましますが、ピアノの個人レッスンを受けることができます。自分にあった曲を弾けたり、練習できたりするので、何か楽器をしていてアメリカでも続けたい方、楽器を始めてみたい方、両方におすすめします！

◆ **授業、レポート、定期試験**

すべての授業でレポートかプレゼンテーション、そしてテストがあります。しかし、どの先生にも Office hour などでは会いに行き、テストであれば時間を長くしてもらったり辞書を使わせてもらえたりすることもあるので、難しそうだと思っても、まず先生と話してみることが重要だと思います。だいたいの定期試験は自分で一週間以内であれば受ける日が決められるので、自分が気の済むまで勉強をしてから受けることができますよ！

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

私はコスモスというインターナショナルクラブに入っていました。大体の留学生がこのクラブに入ります。ハロウィンやバレンタインデーには集まってイベントをしたりみんなで買い物に行ったりと、本当に楽しかったです！他のスポーツなどのクラブは結構本気で、授業を休まなければいけなかったりするのであまりお勧めできません。ヨガやズンバをしたい方は週に1、2回誰でも行けるクラスがあるので是非行ってみてください！楽しいですよ！

⑧ **現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について**

寮は自動的に決められます。大体の寮はクラスを受ける建物の近く（徒歩1分）にあります。私は Memorial という寮に住んでいました。トイレ、お風呂（シャワー）、キッチンが共同なのですが、比較的綺麗な寮でした。食事は Hunt hall か Pub で食べます。正直おいしいとは言えませんが、朝ごはんはワッフルなどを自分で作れたりしますし、毎週水曜日はクッキー、金曜日はスムージーがあったりと、楽しかったです。

⑨ **長期休暇の過ごし方**

秋学期以外は寮が閉まってしまうので、Thanksgiving break にはアメリカの友達の家泊まりに行き、Winter break と Spring break はアメリカの色々な所を旅行しました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

私は2年次から3年次の留学でしたのであまり活動はありませんでしたが、留学中に毎日自己分析のための日記をつけたり、これからどの資格を取るか考えたりはしました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

Junior Dad's というパーティーがとても楽しかったです。3回生のパーティーに参加しました。みんなドレスアップしていつもと違う雰囲気です。ダウンタウンにあるホテルでパーティーができます。美味しいケーキもたくさんあります。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

クラスが固定ではないので、自分から積極的に行かない限りアメリカ人の友達はできにくいです。クラス内で少し差別のようなこともありました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

小さい街だからなのかもしれませんが、会う人みんなに微笑みかけたり挨拶をしたりします。最初は驚きましたが、自分の習慣にもなりとても気持ちよく1日を過ごせます。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

やはり留学生が少ない、ということは良かったことだと思います。学校自体が小さいので、大体の人が顔見知りになってきます。あと、本当に平和です。トップニュースが大雪しかないほど平和な町で、とても美しい街です。勉強する環境としては最高だと思います。逆に悪かった点はやはりあまりご飯が美味しくない、野菜があまり食べられない、ということだと思います。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必ず自分のものを持っていきましょう！毎日開かなければいけないくらい必要です！持って行って良かったものは常備薬、日本のお菓子、お味噌汁の素、何日間かの石鹸類（オリエンテーションで買うまでの間）、部屋の中用のスリッパ、ケータイの充電器の予備。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

一番変わったな、と思うことはエッセイの書くスピードとパソコンのタイピングのスピードです。やはりエッセイが多かったので、その能力は上がったと思います。生活面では先々のことを考えるようになりましたし、今自分に何が必要か、ということのを常に考えるようになりました。勉強に対しての姿勢はとても変わったかな、というふうに思います。

⑤ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

もし条件を満たしているのに一歩踏み出せない方がいらっしゃったら、踏み出してみてください！きっと何か感じるがありますし、何かを得て帰ることができます。まだ点数を満たせていない方、努力した分はきっと報われます。心が折れてしまうこともあるかもしれませんが、自分がやってきたことを信じて頑張ってみてください。留学が自分にとってプラスなのかマイナスなのかは他人ではなく自分自身が決めることです。皆さんならきっと大丈夫です、応援しています！

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

私は英語を使う仕事につきたいと思っていて、サービス業や海外に視点を持っている企業、外資系企業を目指しています。将来的には海外に住むことができれば、というふうに思っています。

V. 写真



Junior Dad's party の時に留学生全員で撮った写真です。本当に仲が良くて、皆で悩み事を相談しあったりしていました。かけがえのない友達が出来ました。



Winter break 中に San Diego で撮った写真です。留学生みんなで一つの家を借りたりして過ごしました。時間とお金に余裕があれば、いろんな州を回ってみることをお勧めします！全然違って面白いです！

K. K. 英語英文学科・2年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

私は大学入学以前から海外留学に興味があり、1年次の頃から2年次秋スタートで協定留学をしたいという気持ちを持っていました。そして1年次の春学期には国際交流センターに置かれている資料を持ち帰って目を通し、協定留学の仕組みや利便性について学びました。実際に協定留学のシステムを利用したいと思いはじめたのは1年次の夏ごろで、3年次からは就職活動に目を向けていきたいと思っていたので2年次秋～3年次春学期の留学に決めていました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

留学を目指すようになってからは、出願に必要な TOEFL-ITP と TOEFL-iBT のスコアを取るために学習を始めました。英語英文学科では TOEFL-ITP の全員受験が必須だったので、そのつど受験日から逆算をして計画的に学習をしていました。また、TOEFL-iBT の学習については、Speaking と Writing の練習は自分一人では難しかったので、夏季休暇中に国際交流センターが主催する TOEFL-Camp に1年次の夏に参加しました。この Camp では4泊5日の間、少人数クラスに分かれてネイティブの先生の方たちと TOEFL 対策を行います。TOEFL-iBT の解答のコツを教わり Speaking の練習もしました。また Writing の添削もしていただき、エッセイを書くコツや文章の構成方法を学習しました。また学科学年を超えて、留学を目指す子たちが集まるので、同じ目標を持つ友達が増えますし、自らのモチベーションアップにもなりました。その後、スコア提出に間に合うように11月に iBT を受験し、必要スコアを取得し無事に協定留学に出願しました。

実際に私が役に立ったと思う教材を紹介します。

・TOEFL テスト ITP 完全攻略 出版社：アルク

・毎日ミニ模試 TOEFL テスト ITP トフルゼミナール英語教育研究所 出版社：テイエス企画

・毎日ミニ模試 TOEFL テスト iBT トフルゼミナール英語教育研究所 出版社：テイエス企画

・TOEFL iBT 大戦略シリーズ 出版社：旺文社

③ 留学決定から出発までの準備期間

TOEIC の受験のために参考書を解いたりしていましたが、留学決定後は集中して語学勉強はしていませんでした。趣味として洋楽を聴くことや字幕で映画を観るなどして、ストレスなく英語に慣れるようにはしていました。

そして5月には予防接種のために病院へ行きました。私は接種しなければならない項目が多く、またかかりつけの病院では取り扱っていないワクチンもあったので、大きい総合病

院を探して受診しました。総合病院には海外渡航外来などがあるので、医者の方も診断書作成に慣れていて、非常にスムーズにいきました。しかし、提出期限があるうえ、ワクチンによっては何度か間隔をあけて数回接種しなければならないものがあったので、一日に3本注射をされた時もありました。

ビザ申請については業者を介さずに自分で6月に取りました。留学先が決まり次第、出来るだけ早くから揃えることの出来る書類は先に用意しておきました。そうすることで書類が全て揃い次第速やかに大使館のホームページからビザ申請面接予約を取ることが出来ました。面接では少し会話をする程度なので緊張することや意気込む必要はありません。面接後7~10日で学生ビザがついたパスポートが自宅に届きました。

航空券手配は留学先の大学の方から情報をいただいた後すぐにH.I.S.に行き、購入しました。往復で購入しましたが、オープンチケットといって往路の日付を無料で変更できる航空券でした。日付の変更はアメリカから電話で行うことができ、オペレーターの方も日本語を話してくれるので簡単に変更が可能です。

あとは、MBCの担当の先生と連絡を取り合って、寮に備え付けられているものや荷物の配達先の住所を聞いて準備に備えていました。

④ 現地到着後

大学の近くには二つ小さな空港があります。一つは車で30分かかるShenandoah airport、もう一つは車で60分のCharlottesville airportです。私は関西国際空港→成田空港→Washington Dulles airport→Shenandoah airportで航空券を手配しました。空港にはMBCの先生が迎えに来てくれました。そして、到着翌日から5日間オリエンテーションがありました。たくさんのアクティビティが詰め込まれているので、友達もできますし留学生同士も仲良くなります。履修手続きなどもこのオリエンテーション期間に行われます。留学生のサポートをしてくれるアンバサダーの生徒が1人1人につくので、分からないことはすぐに聞くことが出来ます。先生や周りの方がすごく親切なので、分からないことはすぐに聞いて大丈夫です。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

語学学校へは通っていませんでしたが、正規科目の一貫でESLの授業を取っていました。

◆ 授業内容、課題、試験

授業ではEssayを書くためのテクニックなどを学びました。課題は定期的にEssayの提出やTimed writingがありました。試験はありません。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学は田舎の可愛らしい小さな街にあります。静かで治安が良く、勉強に適した環境で非常に充実していたと思います。寮は大学内にあり、授業の行われるAcademic Buildingや図書館、食堂に5分以内で移動することが出来ます。また図書館は0時まで開いていて、

テスト前には非常に便利です。

◆ 履修科目

学期ごとにアドバイザーの先生と話し合って履修科目を決定しました。

（秋学期）

・ **MBC101**

留学生のための授業です。授業の一環でフィールドトリップが数回あり、近くのミュージアムに行くことが出来ます。授業は楽で、楽しかったので、息抜きのつもりで授業に行っていました。

・ **INT130 Introduction to American Culture**

アメリカの文化や歴史的背景について学ぶ授業です。1ページのレポートが毎週あり、プレゼンテーションが数回あって試験はありません。文化について自分なりに考え、理解を深めることが出来ました。

・ **ENG103 English as a Second Language**

ESL の授業です。内容は特別難しいものではありません。留学生同士楽しく受けることが出来ます。

・ **COMM100 Public Speaking**

プレゼンテーションや大衆の前で話すためのテクニックを習得する授業です。先生が優しくてフランクな方でした。私は人前で話すときは緊張しがちだったのですが、毎授業の Speaking の演習で発言することへの抵抗がなくなり、毎回率先して最初に発表を行っていました。

・ **SOWK153 Introduction to Social Work**

試験が2回、レポートが3回あり、秋学期の中では一番苦しい授業でした。Social Worker になるための基礎知識を学び毎回ディスカッション、グループワーク、ロールプレイを行う授業です。私は社会福祉に興味があったのでこの授業を取りました。

・ **PHE140 Yoga**

週一回の授業です。先生が非常に優しくて、ヨガ経験が無くても全く問題はありません。試験はありますが簡単なので気楽に楽しみとして取っていました。

（春学期）

・ **ARTH103 Art History**

ヨーロッパの美術史の授業で、17～20世紀を中心に学びました。絵画の中に込められている歴史的・宗教的背景を知ることができ、美術史に興味がわきました。試験は4回ありました。

・ **COMM280 Intercultural Communication**

帰国後はコミュニケーションを専攻するつもりだったので受講しました。異文化を知り、その中でコミュニケーションをとることについて学びました。先生が少し怠惰な所があり、授業に来なかったことやキャンセルされた日もありました。

・ **MUS100 Introduction to Listening**

西洋音楽の現在に至るまでの歴史について学びます。毎週クイズがあり、予習が欠かせない授業です。私は音楽の知識が全くなかったのですが、少し苦しい時もありましたが、しっかりと教科書を読んで覚えればクイズも試験も大丈夫です。

・ **POLS111 Comparative Politics**

アメリカだけでなく世界の政治のシステムについて学び比較しながら考える授業です。基本は座学の授業で、テストとエッセイが二回ずつありました。先生が優しくて雑談も入るので授業も非常に楽しかったです。

・ **THEA111 Voice Diction & Oral Reading**

演劇の授業のようなものでした。6回ほどプレゼンがあり、自分で選んだものを発表するもので、試験はありませんでした。発声のコツや発音、演劇について学びました。

・ **PHE100 Fitness**

健康について考える授業で座学です。毎週、自分の食生活や運動について考え、ポートフォリオを提出します。授業ではプレイをしたり、学校の近くを散歩したり、ヨガをしたり、幅広い内容で活動をしました。

(May Term)

・ **PHIL234 Philosophy & Art History**

哲学思想について学び、考える授業です。哲学の本を3冊読み、3回論述の試験がありました。先生は非常に楽しい話をする方ですが、試験は非常に難しく、評価も非常に厳しい方でした。

◆ **授業、レポート、定期試験**

授業はTAやチューター制度があり、非常にしっかりとサポートを受けることができます。レポートは頻繁にあるので、常にパソコンに向かって学習していました。MBCの定期試験は試験週間の間なら自由に受けた日・時間に受けに行くことができる良いシステムです。教授に許可をもらえば、電子辞書の使用や試験時間を延長することができます。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

Cosmosという国際交流クラブに入っていました。留学生はみな所属し、2週間に一回活動していました。コストコに行き、ハロウィンパーティーやバレンタインパーティーなどを開きました。新しい友達を作り、おしゃべりをする良い機会でした。

⑧ **現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について**

寮はMemorialというところでした。ほとんどの留学生が同じ寮で、ルームメイトは韓国からの留学生でした。部屋には机・ベッド・ドレッサー・クローゼットが備え付けられています。シャワー・トイレ・キッチン・洗濯機・乾燥機は共同使用でした。私の寮はきれいで可愛い造りで、非常に住みやすかったです。学内の寮なので、寮から授業の校舎・図書館などには5分以内で移動することができます。食事は朝昼晩、食堂で食べることができます。自分で取るシステムなので、食べるものや量は調節できます。食事はまずいと

いうよりも、食べられる・食べられないものという違いだと感じました。

⑨ 長期休暇の過ごし方

Thanksgiving Break・Winter Break・Spring Break は寮が閉鎖するので、必然的に旅行へ行かなければならない状況でした。留学生たちと一緒にいろんなところへ行きました。Chicago・LA・Seattle・Vancouver・NY・Washington DC・Florida・Toronto・Quebec、アメリカ国内とカナダへたくさん旅行しました。行く先々で様々な違いを見ることができて楽しい思い出ばかりです。航空券は Expedia を利用し、早くから探し安く購入しました。また宿泊先はホテルを利用せず、air bnb という一軒家を借りるというものを利用しました。大人数で泊れば、安く済みますし、他の人を気にせず、楽しく泊まることができます。みんなで一つのお家でわいわい過ごして非常に楽しかったです。

Air bnb: <https://www.airbnb.com/>

④ 留学期間中の就職活動の取り組み

マイナビなどの情報をみるなどして、漠然と将来のことは考え始めてはいました。また帰国直前には大阪でのインターンシップ説明会の申し込みをしました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

ルームメイトや留学生の仲間と一緒に過ごした時間とたくさんの旅行です。わたしを含めて9人の留学生は非常に仲が良く、ほとんどの時間を9人と共に過ごしたと思います。みんなの誕生日のときは毎回みんなでバースデーカードを書いて、ケーキを用意してサプライズパーティーをしていました。みんな毎日勉強に必死で忙しかったのですが、その息抜きとして、ルームメイトとお喋りしたり、みんなで集まってひたすら食べて喋ることがすごく楽しかったです。留学生の中が非常に良かったので、旅行も毎回みんなで同じ所へ行き、たくさん楽しい思い出ができました。大切な仲間たちと過ごした時間が一番の思い出です。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

クラスメイトの1人とうまくいかなかったときもあり、クラスの雰囲気が苦しくて毎回授業にいくのが嫌な時期がありました。しかし、自分がへこむことなく負けずに向かうことで、状況は変わると感じました。勉強はいつもハードで、人生で一番勉強をしたと言っても過言ではありません。苦しかったです。私にとって大きな挑戦であり、乗り越え良い成績をもらい、目に見える結果を得た時の喜びはこの先も忘れません。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

トイレに裸足で来たり、トイレの後に手を洗わなかったり、平気で共同のスペースを汚したままにするなど、理解しがたいことがたくさんありました。使ったものは元の通りに直してきれいな状況を保つという考えがあまりないようです。ハウスキーパーが来て掃除するし、誰かが綺麗にするとみんなが思っているのかもしれませんが。また、授業に平気で遅

れてきたり、前の椅子に靴のまま脚をのせるなど、ルーズであつたり、汚いなど思うことが何度かありました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

MBCは留学生支援制度が非常によく整っています。また自然豊かで静かな街にある大学なので、勉強するには最適の場所だと思います。悪い点は、田舎過ぎて交通手段が少ないことやたまにWi-Fiの電波が入らなくなることです。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコンは必要です。インターネットで行う課題やレポートがたくさんあるので必須だと思います。化粧水類・洗顔のように肌につけるものは日本の物を使用しました。他には、洗濯ネット・掃除用のコロコロ・コンタクトレンズ・常備薬・爪切り・裁縫道具・日本食などを持っていきました。日本食は本当に必要だと実感しました。留学前は、アメリカの食事でも生きていけるだろうと軽く考えていましたが、食べるものがない時や、アメリカの食事とうんざりした時は、やっぱり日本食が恋しくなります。基本、日用品はアメリカでも購入できますし、後で日本から送ってもらうこともできるので、行きの荷物は洋服を含め必要最低限で良いと思います。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

リスニング能力が上がったと思います。授業では毎回必死に聞き理解し、すぐに返答する力もついたと思います。語学力以外では、時間の使い方が非常に良くなったと思います。効率的に勉強時間を確保し、それと同時に洗濯などの時間も確保するなど、てきぱきと動くことができるようになりました。そして深く考えすぎて悩むこともなくなり、楽観的に過ごすことができるようになりました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は費用がかかりますが、今しかできない貴重な経験だと思います。英語学習は国内でも出来るかもしれませんが、わたしは確実に留学をとおして成長できたと思います。また国をこえて素晴らしい仲間に出会うことができます。留学を目指しているみなさん、頑張ってください、そして素晴らしい思い出を手に入れてください。

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

留学支援を行うなど、教育関連の仕事により興味を持ちました。教員として教育現場に実際に立つのではなく、その基盤となる仕組みや支援制度、教材管理、教育環境を整えるサポートとしての仕事がしたいと思っています。

V. 写真



帰国間近の日にみんなでダウンタウンにあるジェラートのお店へ行きました。このジェラートは非常に美味しくて、頻繁に行っていました。MBCの学生のお気に入りのお店の一つで、季節を問わずいつも賑わっています。



LAのお家にて。冬休み中に誕生日だった私に、みんながケーキとカードをサプライズで用意してくれて祝ってもらいました。最高の20歳の誕生日でした！

S. O.英語英文学科・3年次

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は将来「ものづくりの会社」で働きたいと思い、ビジネスに興味を持ち始めました。海外の大学で専門性の高い学問を学びたいという思いから協定留学を目指すことを決めました。そのため1年次にAESコースの選考を受けました。2年次から海外留学に必要な英語運用能力を少人数のAESコースで勉強し、留学に必要なIELTSのスコアを取得しました。3年次にはアメリカのMary Baldwin Collegeに留学しました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

私はIELTSの勉強に力を入れました。IELTSの教材はTOEIC、TOEFLのように種類が多くないので選びやすかったです。IELTSはListening、Reading、Writing、Speakingの4技能のうちSpeaking以外は全て筆記のテストです。問題形式と時間配分になれるために毎日勉強をしました。AESコースの授業はネイティブの先生が多いためSpeakingは毎日の学校生活で身に付きました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

語学の勉強は日本を出国する前にTOEICを受けたので、それに向けて勉強しました。留学に必要なスコアがとれてもそこがゴールではないので慢心することなく勉強することが大切だと思います。ビザ申請は代理店に頼む方法もありますが、私は自分でビザ申請の手続きをしました。時間がかかることなので早めしておくことが重要です。

④ 現地到着後

成田からDC、DCからCharlottesvilleの空港を使いました。出国前から現地の先生に空港まで迎えに来てもらうよう依頼しました。Charlottesville空港から大学は車で約1時間です。到着直後現地の大学生が寮を案内してくれました。オリエンテーションは現地のFreshmanと合同なので友達を作る機会が多くあります。オリエンテーションの内容は大学構内の案内、施設の説明などを聞きました。また、カラオケ大会やキャンプファイヤーなど様々なイベントもあり楽しかったです。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

ESLがあったのは秋の Semester だけでした。少人数制クラスのため30人が座れるくらいの教室でした。環境は人数も少なく皆インターナショナルでした。そのため、雰囲気も良く楽しく受講できました。

授業内容はエッセイなどの文章の書き方を学びました。接続語の正しい活用の仕方や文法なども勉強しました。エッセイや作文を書くことが多かったです。課題は毎回トピックが出され、先生に提出して採点してもらいました、試験は今まで授業で習ったことを含めてエッセイを書きました。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学内に寮、食堂があり短時間で移動できます。1月2月は雪のシーズンで2度雪のため休講になりました。氷で滑り骨折した生徒もいるので冬の外出は注意が必要です。

◆ 履修科目

・ Marketing

マーケティングに興味があったので受講しました。週3日授業がありました。アメリカにおける実践的なマーケティングを学ぶことができました。

・ Project management

プロジェクトを毎回の授業でしました。最も大きなプロジェクトではグループに分かれて Sustainability について企画をし、それぞれ発表しました。

・ Business and society

経済と社会で自分の疑問に思うことについて学ぶことが出来ます。

・ Global business

夜間のクラスで6時から9時まで講義を受けていました。

世界中で取り上げられているニュースなどについて考える皆で意見を言い合う機会が多かったです。

・ Social Statistics

大きなプロジェクトが4回ありました。シスタと呼ばれるソフトを使い計算、グラフの作成をしました。自分で作成したグラフを元に分析してレポートを作りました。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

コスモスというクラブに入りました。現地の学生とインターナショナルで構成されていて、2週間に1回活動していました。自分たちでやりたいことを企画出来るので楽しかったです。

⑧ 現地での住まい

私は留学中寮生活をしました。2人1部屋でしたが、部屋は広く快適に過ごすことが出来ました。各寮に冷蔵庫、キッチン、ラウンジ、バスルームがあります。寮の規則は厳しくなく過ごしやすかったです。私が受講していたほとんどの科目は寮から5分の建物でありました。図書館、食堂も5分程度で行くことが出来ます。フレンドシップファミリーと呼ばれるものがあり、現地の家族が各インターナショナルの生徒についてくれました。フレンドシップファミリーの決定方法はアンケートに答え、最終的に留学に携わっている先生が決めました。食事は食堂で朝、昼、晩がです。

⑨ 長期休暇の過ごし方

私は旅行をしました。冬休みや春休みの直前になると航空券やホテルなど高くなるので早めに予約することが大切です。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

就職活動はしていませんでした。特に春学期は正規の科目しかありません。その中で、受

講している勉強と就職活動を同時にするのはとても大変なことだと思います。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったことは、最も思い出に残っていること

最も思い出に残っていることは留学先での勉強です。Mary Baldwin College における最も難関な講義でも積極的に挑戦しました。特に社会科学統計学では、電力消費量を国ごとに比較するプロジェクトに1人で取り組みました。エクセルやシスタ等のプログラムを利用してグラフを作成し情報を分析するのですが、授業や課題も日に日に難しくなり挫折しそうになりました。しかし教授やティーチングアシスタントが授業以外でも教えてくれたおかげで、私の分析したものが最高の評価をもらえました。そのときは本当に嬉しかったです。

② つらかったこと、最も苦勞したこと

授業です。私が受講したビジネスの科目はビジネスを専門的に学んできた Junior や Senior の学生が多かったです。そのなかで、授業を受け課題をこなすのはとても大変でした。しかし、難関な講義を通じてビジネスの知識を得ることができました。また、諦めずに目標に向かって一緒に頑張る友達も出来得るものが多かったです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

特になかったです。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

大学の周りは遊ぶ場所がありませんでした。勉強するにはとても良い環境だと思います。悪い点は、交通の便が悪かったです。そのため、私は自転車を買いました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコン、携帯、受電器は必需品です。あとは現地でも買うことが出来ました。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

帰国してからまだ英語技能に関する試験を受けていないので、向上しているか分かりません。しかし、1年間現地の大学で学んだので伸びていると思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学では楽しいこと、辛いことたくさん経験します。その経験が自分自身を強くしてくれたと思います。大学の制度も整っているので留学に興味のある方は行くべきだと思います。

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

来年卒業予定で、卒業後は働きたいと思っています。

V. 写真



両方の写真は Junior dads の時に撮影したものです。Junior dads は、Mary Baldwin College の Junior の生徒がメインの伝統的なパーティーです。各生徒の名前が呼ばれて、生徒の親や教授などからリングや花をプレゼントされます。



K. O. 英語英文学科・3年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

留学をすることは、入学時からの夢でした。空港で働くことが夢だったので、日本の玄関である空港で働くには、英語は不可欠だと思いました。英語が不得手な私にとって、TOEFLやIELTSで基準点に到達することはとても大きな壁でした。しかし、諦めずに、留学している自分を想像し頑張ってきました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

学校で行われる TOEFL の ITP のテストは積極的に受けるようにしていました。私は機械が苦手なものもあり TOEFL より IELTS の方が受けやすかったので IELTS の勉強をしていました。他はこれといってやったことはありませんが、授業の予習と復習はしっかりやっていました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

留学が決まってからは、ビザの手続きなどに忙しく、勉強はしていませんでしたが、洋画をみたり、洋楽を聞いたりして、英語に少しでも慣れるようにしていました。ビザの書類を集めたり、予防接種を受けに行ったり、一人暮らしだったので引っ越しの準備をしたりと準備期間はとても大変で、あっという間でした。ビザは書類集めに時間がかかったり、面接の予約がいっぱいで希望日にできなかったりすることもあるので、早めに動いた方がいいと思います。予防接種も私は接種していないものが多かったので、全て終わるまで何回も通いました。準備期間は早め早めに行動することをお勧めします。

④ 現地到着後

事前に大学の方に到着空港と時間を送っていたので、迎えに来てもらえました。ただ、飛行機が一時間ほど遅れて出発したのですが、連絡ができなかったので、空港で待っている間はとても不安でした。ついた次の日から、オリエンテーションが始まりました。この期間はアンバサダーの方が一緒についてくれるので、分からないことがあれば、質問したら大丈夫です。親切な方ばかりなので心配ないです。オリエンテーション期間は様々な行事があるので、他の生徒とも仲良くなれます。

⑤ 語学研修期間

秋学期からだったので、行っていません。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

とても勉強しやすい環境だったと思います。寮から図書館や授業がある建物は近いので、すぐでした。天気の良い日は外で勉強したりもしました。とても気持ちがいいです。坂が多いのは嫌でした。

◆ 履修科目

・ **Orientation**

留学生必修の授業です。フィールドトリップがある授業で楽しい授業でした。数回あるレポートとプレゼンが面倒でした。

・ **American Culture**

留学生必修の授業です。ゲストスピーカーの先生がアメリカの政治、歴史、教育などについて話してくれています。毎週レポートがありましたが、アメリカを知ることができる授業なので、毎回楽しみでした。

・ **ESL**

これも留学生必須です。簡単に感じるかもしれませんが、私は履修してよかったです。

・ **Public Speaking**

とってもとらなくてもいいですが、ほとんどの留学生は履修していました。ほとんど毎週プレゼンがあるので、人前が苦手な私にとっては、嫌いな授業でしたが、他の生徒はいい人ばかりで助けてもらいました。

・ **Sociology**

留学生は私一人だけだったのでとても緊張しました。ほとんどレクチャーのみでした。授業とは別にグループワークの課題があり、グループで週末も集まったりしていました。

・ **Violin**

秋と春両方履修しました。日本でやっていたのでアメリカでもとってみました。先生が優しく、息抜きできる授業でした。

・ **Math**

この授業は、数学が好きな私にとってとても楽な授業でした。課題とクイズの量が多いのは大変でした。

・ **Chemistry**

栄養学みたいな授業でした。電子辞書に載っていない専門的な言葉が多いのでとても大変でした。レポートや課題が多く本当に大変でした。グループワークが多いです。

・ **History**

ヨーロッパ史です。リーディングの量が多く、毎日大変でした。読んで覚えての繰り返しでした。中間テストとファイナルテストがエッセイを3つほど書かないといけないので苦労しました。

・ **Theater**

表現の仕方を学ぶ授業でした。最後には二人組で短い芝居をやりました。

・ **String Ensemble**

日本でオーケストラをやっていたのでとりました。音楽を通して先生と生徒と仲良くなれました。

◆ **授業、レポート、定期試験**

レポートは毎回徹夜していました。ファイナルテストは時間がほしかったり、電子辞書が

使いたかったりしたら、先生に聞けば許可してくれることが多いので、先生に相談して時間をのばしたりしてもらっていました。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

COSMOS という国際交流サークルに入っていました。留学生はみんな入っていました。いろいろなイベントを企画してくださるのでとても楽しかったです。

⑧ 現地での住まいについて

学校の寮に住んでいました。キッチン、ランドリー、シャワールーム、トイレなどが共同であります。週に一回掃除の方が来て掃除をしてくれるので、そこまで汚くありません。ただ、ルーズの人も多いので少し気になるときもありました。

⑨ 長期休暇の過ごし方

秋休みと冬休みは友達と旅行しました。いろいろな州に行くことができ、本当にいい思い出ができました。アメリカの先生に言われたように、アメリカは州ごとに雰囲気が違っておもしろいです。春休みはホストファミリーのところにホームステイしました。学校があったり仕事があったり昼間は一緒に過ごすことができませんでしたが、夜ご飯と一緒に食べたり、日本食を作ったり、近所のパーティに連れて行ってもらったり、アメリカの一般家庭の生活を体験することができ良かったです。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

マイナビとリクナビに登録したぐらいで何もやっていませんでした。今年から就職活動の時期が変わったのでのんびりしていましたが、留学中でもできることはやった方がいいと思います。自己分析をしたり、志望業界を決めたりなどはできると思います。でも、まずは留学生生活を大切にしてください。暇な時間に少しだけ考えておくだけでも帰国してから十分役立つと思います。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

ホストファミリーや友人など海外にも話をできる人たちが増えたことです。ホストファミリーには週末の家族行事などに誘っていただいたり、本当にいい家族に出会えました。そして、留学後はアメリカでできた友達の家遊びに行ってきました。これからもこの留学で得たこのつながりを大事にしていきたいと思います。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

レポートなどの課題が本当に大変でした。終わりが見えなくて嫌になることも多々ありましたが、頑張った分だけ自分のためになっていると思います。それから、自分の言いたいことが上手く伝わらないときは、苦勞しました。自分はまだまだだと思い落ち込むときもありましたが、もっと頑張らないと思うこともできました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

トイレに裸足で入る人がいたことには驚きました。他の人が土足で歩いている部屋の中で

も裸足の人がいてとても気になりました。図書館で普通にみんながしゃべっていたり、何かを食べたり飲んだりしていることにも驚きました。文化や習慣の違いなど気づくことはたくさんあると思います。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

とても勉強しやすい環境だったと思います。ただ、図書館の冷房が寒すぎたり、冬に部屋の暖房がきかなくなったりした時は困りました。ネットがつながらなくなる時もありました。シャワーのお湯が出ないときもあり、出るまで一時間以上かかったりするときもありました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは持っていきました。図書館にもパソコンはありますが、自分のパソコンがあった方がいいと思います。ほとんど向こうで揃うので問題ありませんが、日本で使っている薬や日本食はもっていくことをお勧めします。日本食は留学中日本から数回送ってもらいました。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

リスニング力は上がりました。TOEIC のテストもリスニングはとても楽に聞こえました。他のスピーキングやリーディングも抵抗はなくなりましたが、まだまだなのでこれからも頑張っていきたいです。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は社会人になったらそう簡単にできるものではないと思います。学生のうちだからこそできるものだと思うので、迷っていたり、少しでも留学に興味があるのなら、挑戦してみてください。

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

英語を少しでも生かせる仕事に付けたいなと思っています。留学を通して自分の英語力はまだまだだと痛感したし、もっと英語が好きになったので、英語の勉強はこの先もずっと続けていきたいと思っています。

V. 写真

ホストファミリーとの一枚です。この日はバレエの発表会を見に行ってきました。今でも連絡を取り合っています。



A. K. 英語英文学科・3年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

私の場合、実は前々から留学したいと考えていたわけではなく、本格的に考え始めたのは2回生の秋学期に入ってからでした。それまではAESコースで勉強できれば十分で留学まではしなくてもいいと考えていました。しかし、AESコースで授業を受けているうちに「英語を勉強する」のではなく「英語で勉強する」ことに興味を持ち始め、週に1回のStudies in English（「英語で勉強する」授業）だけでは物足りなく感じるようになりました。次第に協定留学制度が気になり始め、三年次秋学期からの出発に就職活動などの不安もありましたが、迷っているぐらいなら行ってしまおう!と留学することを決めました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

留学したいという気持ちがだんだん膨らんできた頃には夏休みも始まり、応募条件であるIELTSを受け始めました。幸い、必須条件のTOEFL ITPのスコアは二年次春学期に英語英文学科の全ての学生で受験した時に満たしていたのでIELTSの勉強に集中できました。この時点では留学先は決めておらず、アメリカよりもイギリスの方に行きたいと思っていたのでTOEFL iBTではなくIELTSを受験していました。しかし、イギリスの物価や行きたい大学など色々情報収集をしていくうちにイギリスは諦めてしまいました。一度も調べたことがなかったアメリカの大学(Mary Baldwin College)を見てみるとShakespeare劇の研究やアジア研究（日本文化や日本語）が盛んで一気に惹きこまれました。英語テスト（ITP/IELTS/iBT）の点数によって奨学金を頂けるという情報も聞き、秋学期は願書提出ぎりぎりまでITPテストを受けていました。なるべく点数を上げようとなるべく毎日TOEFL ITPのテキストや過去に頂いたTOEFL iBTの問題集を解くようにしていました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

出発までは予防接種/健康診断やビザ申請などしなければいけないことが多い上、アルバイトもしていたので忙しい日々を過ごしていました。前年度MBCに留学された先輩、国際交流センターの方、現地（MBC）の先生そして一緒にMBCへ行く学生と連絡を取り、わからないことや困った時に質問をして何度も助けていただきました。ビザ申請は不安でいっぱいでした。周囲の学生が早くからビザを取りに行っていたので焦って申請していたのを覚えています。記入する項目が多く大変なのは確かですが、指示されている通りに記入して書類を準備すればいいので会社に頼まなくても自分でできると思います。心配な時は前年度留学された人や国際センターの方にどんどん質問してみてください。ビザ申請の時の面接も深い話はしないのでリラックスして受けてください。出発直前の夏休みは歯の検診を受けたり、持っていく服を揃えたり本格的な準備を始めました。衣類は帰国前に捨ててきていいような(安い)ものを持っていきました。普段はおしゃれする必要はありません。Tシャツとジーンズで十分でした。綺麗な服やドレスは1, 2着要ると思います。帰国前は

どうしても物が増えてしまうので持ってきた服はすべて持って帰れると考える方が良いでしょう。それからスーツケースは（規定内で）なるべく大きなものの方がいいですよ。私はスーツケースがとても小さくて（「よくこのスーツケースで来れたね」と言われていました）、行きと帰りはもちろん、旅行の時も困りました。お店でもネット通販でも買い物ができるので日本でしか手に入らないもの以外は持っていかなくていいと思います。

④ 現地到着後

ありがたいことに MBC のスタッフの方が空港まで車で迎えに来てくださいました。私が利用したシャーロットビル空港は MBC から車で 50 分ぐらいです。学校に到着するとアンバサダー（留学生をお世話してくれる現地の学生）が寮やオリエンテーションの説明をしてくれます。ひとりかふたりの留学生につきひとりのアンバサダーがお世話してくれるので不安なことがあればどんどん聞いてみてください。とても親切に教えたり手伝ってくれます。履修登録もアドバイザーの先生と 1 対 1 で話し合って決めていくので心配いりません。オリエンテーション期間(最初の 1 週間)はイベントが盛りだくさんです。参加不参加自由なものもありますができるだけ参加することをお勧めします!私はすべて参加しました。現地の学生(1 回生)と仲良くなるチャンスですし、日本人ひとりの場合(日本から来たとき自己紹介した場合)は注目され何かと気にかけてもらえます。カタコト英語でも大人しくせず喋ってください。文法とか発音に自信がないとか考えない方がいいです。発音は正しくないと会話が成立しなくて困ることがありますが「これを言いたい」と伝えればわかってもらえるし、文法や発音を間違えたときは「あ!間違えた!(同じ間違いはしないように気をつけよう)」で良いと思います。現地の学生にとって私達は来たばかりの外国人なので英語が流暢ではないのが当たり前の感覚です。それに間違えた方が記憶に残って英語も上達すると思います。

⑤ 正規科目履修期間

秋学期は留学生が取らなければならない授業が 4 科目に加えて 1、2 科目好きな科目をとりました。留学生のための授業 4 科目のうち Speaking のクラスは選択自由です。一緒に留学した学生は皆履修していましたが私はどうしても取りたかったクラス(コーラスの授業)と被っていたので履修しませんでした。春学期は留学生のための授業もなくなり、好きなアカデミックの科目を 4-5 科目程取ります。それに加えて体育などアカデミック以外の科目をとります。ですから、春学期は秋学期と比べ物にならない程忙しく大変です。

(秋学期)

・MBC101 Orientation to College & INT130 American Culture

留学生は必修の科目です。MBC101 では学校生活のことを先生やほかの留学生と共有したりレポートの引用の仕方や参考文献の書き方を習います。時々、American Culture の授業と合体してフィールドワークに行きます。American Culture は様々な分野の先生がお話しに来てくださいます。その講義を受けて Essay を書いて提出やプレゼンテーションをします。

• **ENG103 English as a Second Language**

留学生は必修の科目です。文法や Essay の書き方を学びます。日記を書くときもあり、先生がコメントを下さるので楽しかったです。

• **PSYC111 PSYC as a Social Science**

以前から心理学に興味があったので履修しました。授業までに指定されたチャプター(英文びっしり 30 ページ程)を読んでいないと授業についていけないほど進度と先生の power point が切り替わるのが速かったので必ず事前に読んでおくように心がけていました。授業のリアクションペーパーが4回、テストが4回、チャプター終わるごとに小テストそして期末試験がありました。

• **MUS106 Mary Baldwin College Choir**

学年や学部を問わず誰でもとることができるコーラスのクラスです。私は一年通しでとりました。英語の歌だけではなく、ラテン語、フランス語、ドイツ語、アフリカの言語の歌も歌います。クリスマスの時期には讃美歌も歌いました。近くの教会や施設でコンサートを行い、春には一泊二日でワシントン D.C まで演奏ツアーに行きました。その中で本当に良い友人たちに出逢うことができました。アメリカ人学生の輪の中に入って行動する良い機会、良い経験になると思います。お勧めです。

• **JPNS380 Teaching Assistant for JPNS 201**

中級の日本語科目の TA (Teaching Assistant) です。秋と春の両学期ともやりました。どうしてもやりたくてずっと日本語の先生にお願いをしていました。TA が必要な初級クラスの TA は現地の学生がすると既に決まっていたので TA の仕事は諦めかけていましたが先生がお仕事をつくってくださいました。秋学期は週一度のチューターと授業補佐と学期内 10 時間程度の日本文化イベント企画と主催をしました。知らない土地でイベントを企画、準備、宣伝、主催はとても勇気が要りました。宣伝はアジア研究学部の先生や広報担当の先生にも頼んで協力して頂いた結果、日本に興味がある学生がたくさん集まってくれました。おにぎりを作って食べたり、映画やドラマを観て過ごしました。中でも「花より男子」を観たときは大盛り上がりで、台詞や行動のひとつひとつに反応していて一緒に観ていて楽しかったです。北アイルランド人の友人(留学生)は初めて日本のドラマを見たそうですが「花より男子」のファンになり、帰国後映画を含め全シリーズ見る!と話していました。春学期は授業補佐に加え、週一回の Study Session(補講授業)を行ったり、授業の始めに J-pop を紹介したり、日本人と現地学生が一緒にお昼ご飯を食べて会話をする Conversation Table というイベントを企画、主催しました。

(春学期)

• **BUAD305 Global Business**

二週間に一度の授業でしたが、一コマ三時間ぐらいあります。教科書を使わず、授業はビデオをみたり記事を読んで意見し合います。毎時間いくつかのテーマ(用語)が与えられ、それらについて調べてペーパーを書いて提出します。さらに International café という昼休み

に行われる講義に毎週参加して Global Business と関連付けたリアクションペーパーを書き 24 時間以内にメールで提出する宿題もありました。中間テストも全て調べ学習と論述です。学期末には 10 ページほどのペーパーと 15 分間のプレゼンテーションをしました。私はユニクロのフランス進出について調べて発表したのですが、先生もアメリカ人学生も非常に興味を持ってくれて発表後にはたくさん質問を受けました。とても嬉しかったです。

・ **ED115 Foundation of Education**

教科書を読んできていることが前提で先生と学生が意見を出し合いながら授業が進みます。アメリカの教育制度、教職員免許をとる過程、教師の厳しい雇用状況そして教室の問題など日本の教育との違いを知ることができました。中間テストと期末試験の他に学校の問題についての論文や自分で考えた教育哲学の論文を書きました。プレゼンテーションや賛成派と反対派に分けられチームでディスカッションもしました。さらに指定されたホームページへ行き調べ学習をした後、論文を書く宿題もありました。特にディスカッションは他の学生の意見を聴き取るのも自分の意見を発表するのも苦労しました。ついていくのに必死でした。しかし、論文は先生から褒めて頂くことが多く、自分でも書いていて楽しかったです。

・ **MUS226 Music and the Theatre**

オペラやミュージカル音楽が好きなので履修しました。様々なオペラやミュージカルの曲を聞きました。中間テストと期末テストの他にグループディスカッションやプレゼンテーションがありました。シンデレラの原作となったオペラも見に行きました。オペラやミュージカルの歴史や古い作品のことを学べるので演劇が好きな方にお勧めの授業です。

(メイトーム)

・ **MUS218 Women in Music**

音楽史と女性史が一緒になったような授業です。Music and the Theatre と同様、中間テストと期末テストの他にグループディスカッションやプレゼンテーションがありました。MUS226 と担当の先生が同じでしたが、この授業はよりディスカッションやグループ発表をする回数が多かったです。グループディスカッションはほぼ毎時間ありました。

⑥ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

クラブは留学生対象の COSMOS に所属していました。ゲームやパーティーなど現地の学生が企画してくれました。後は Mary Baldwin College Choir の授業がクラブ活動のようなもので結構忙しいため他のクラブには入りませんでした。

⑦ **現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について**

私は Memorial という名前の寮に入りました。広くて比較的綺麗な寮でしたが、私たちの部屋は窓が閉まらなくなったり、ヒーターが当然消えたり、換気扇の音がうるさかったり度々問題が起きました。冬場はシャワーのお湯が出ないこともよくあり困りました。上級生が多い寮なので普段は静かですが週末はにぎやかです。

⑧ **長期休暇の過ごし方**

秋休みは日本語クラスの先生の家に泊めて頂き、サイクリングやシャーロットビルに行きました。お庭でバーベキューやキャンプファイアーもしました。Thanksgivingの休暇中は友人の家に滞在し、テーマパークや買い物に連れて行ってもらいました。冬休みはロサンゼルスとサンディエゴとニューヨークへ行きました。西海岸ではよくビーチに行き、ニューヨークでは自由の女神や美術館そしてミュージカル「オペラ座の怪人」（50%割引で）を見に行きました。春休みはフロリダのディズニーワールドとユニバーサルスタジオに行きました。旅行という楽しみがあったから普段の学校生活を頑張れた気がします。旅行計画は早めに立てておくことをお勧めします。

⑨ 留学期間中の就職活動の取り組み

日々大学の課題に追われていたので全くしていませんでした。偶にキャリアサポートセンターから送られてくるメールを読むぐらいです。就職活動のことを考えても留学先でできることは限られていますし、その前に今目の前にあることを頑張ろうという気持ちが強かったので留学中就職活動はしませんでした。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

旅行も普段の生活も楽しかったです。コーラスのクラスでワシントン D.C へ行って歌ったこと、日本文化のイベントを企画、主催して皆が喜んでくれたこと、国籍を超えて色々な人に出逢い、気の合う友人ができたこと等…楽しかったことも思い出に残っていることも挙げはじめたら切りがない程たくさんあります。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

苦勞したことは授業中のグループディスカッションです。ネイティブはやはり喋るスピードが速い上に全ての音をはっきり発音してくれないので何を話しているかわからない時が多かったです。もう一度言ってもらえるようお願いすることもしばしばありました。少なくとも一言、二言は必ず発言するように決めていましたが、なかなか話に入っていけないのは本当に悔しくて辛かったです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

食事と時間や接客に対する感覚や姿勢が日本と大きく違いました。食事はハンバーガー、ピザ、揚げ物が毎日のように出て「健康な食生活」とは言えません。揚げ物のつけ合わせが揚げ物だった時は本当に驚きました。日本食は味も見た目も繊細だと感じました。時間の感覚の違いは理解していたつもりでしたが、交通機関の時間の不正確さに困ることが多々ありました。日本では5分、10分遅れただけでもアナウンスをして謝罪をしているのにアメリカではまず時間ぴったりに到着することが殆どありません。何時間も待たされることも珍しいことではありません。接客態度も見ていると日本の「おもてなし」精神は素晴らしいと感じました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は先生も学生も親切だったことです。授業中でも普段の生活でも困っていたら助けてくれる人が多かったです。悪かった点は食事です。味が全くない時、同じ料理が続く時、品数が極端に少ない時があり辛かったです。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコンと常備薬(生理痛や風邪用等)と基礎化粧品は持って行った方がいいと思います。それからスマホもよく使いました。キャンパス内や空港では Wifi を使うことができるので友人とはよく messenger を使って連絡をとっていました。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

自分ではよくわかりませんが、先生に発音を褒められる、ホストファミリーや英語が母語の友人たちに英語上手くなったねと言ってもらえることが増えていったので少しは上達できたのだと思います。留学前よりも英語を話す時に変な緊張をしなくなりました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

少しでも興味があるならば是非留学してください。様々な人と出会うことで自分の視野が広がります。留学先では遠慮せずに自分の思うように行動してみてください。留学を充実させるかどうかは自分自身によると思います。受け身にならないでください。やってみたことがあれば口に出したり自分から動いてみるとチャンスが巡ってくる場合がありますよ。

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

以前から考えていたことですが、留学を終えてさらに学びたいことが増えたのでまずはそちらに集中します。言語だけではなく母国のこともきちんと学んで、海外の方々と接したりお仕事をすることになった時に良い意味で一目置かれる日本人女性になることが私の目標です。

V. 写真



Junior Dad's という三年次生対象のパーティーです。ドレスに着替えて留学生全員で写真を撮りました。ケーキを食べたりダンスを踊って楽しみました。



Mary Baldwin College Choir の仲間と学校の近くの教会でコンサートをした時の写真です。一年を通して、英語の他にラテン語、フランス語、ドイツ語、ズル語(アフリカの言語)の歌に挑戦しました。